

旭区 区民利用施設職員研修会



第1回 チラシの作り方講座

～講座をアピール！集客ができるチラシをつくる！～

【日時】 令和元年7月25日（木）14:00～16:00

【場所】 旭区市民活動支援センター「みなくる」研修室

【参加者数】 28名（地区センター7名、コミハ4名、ケアプラザ12名、その他5名）

【内容】（時間は概ねの目安）

| | 時間 | 内容 |
|---|-------------|---|
| 1 | 14:00～14:10 | ・開講の挨拶 地域振興課区民施設担当係長 田中 淳一 ・講座の説明 講師紹介 |
| 2 | 14:10～15:40 | 講座開始 講師：株式会社Yプロデュース 認定講師 新野 雅子氏 「驚くほど人が集まる！チラシの作り方」 前半 ・集客チラシを作るための文字原稿の作り方 ・講師のプロフィールの書き方のポイント ・数ある棚に並んだチラシの中から選んでもらえるためのキャッチコピーの作成テクニックについて 後半 ・プロ仕様のレイアウト作成術の7つのポイント ・写真の見せ方、書体の選び方 |
| 3 | 15:40～16:00 | 事務連絡 みなくる 山本 終了の挨拶 地域振興課みなくる担当 川見 アンケート記入 |

【当日の様子】



多くの旭区の施設職員の皆さまに参加いただけて大変嬉しいです



たくさんのチラシの中から選んでもらうには…

対象者は明確に！

地域振興課田中係長よりご挨拶

株式会社Yプロデュース
認定講師 新野 雅子氏による
「チラシの作り方講座」



今回の研修会は対象を広げ、地区センター、ケアプラザ、子育て拠点など、様々な施設の職員の方にご参加いただきました



参加者の皆さんから様々なチラシ作りに関する質問がありました



「ここは撮影OKですよ!」と新野氏が話すと皆さんが自分のスマホで撮影されていました

チラシ作りのレイアウトポイント

- 意味のない画像はいれない
- 文字を横に長く書かない
- ! (感嘆符) を使いすぎない
- 同じ言葉を重複させない
- 文字の大きさにメリハリをつける



【参加者の皆さんの感想（抜粋）】

◎チラシ作り講座の内容で活かされと思ったこと

- 自主事業のチラシ作りに役立つ (13名)
- キッシュコピーの作り方、考え方など参考になった (7名)
- レイアウトや文字の書体選びが参考になった (6名)
- 上三分の一に重要なポップを記載する事が重要であること
- 自分様視点でチラシを作成していたのでお客様視点で具体的かつ簡潔に伝わる紙面づくりをしたいと思った

◎気が付いた点、改善してほしい点のなど

- 内容が具体的で分かりやすかった (5名)
- 講師の声と話し方が素敵で聞きやすかった (2名)
- ワークショップ等で実際に架空のイベントについてグループでチラシを作ってみるといった実務的なことも経験できればよかった
- 他の施設の方と触れあう時間がなかったのが残念

旭区 区民利用施設職員研修会



第2回 対応援助のポイントの理解& 事業の事例発表

【日時】 令和元年9月6日（金）14:00～16:00

【場所】 旭区市民活動支援センター「みなくる」研修室

【参加者数】 14名（地区センター3名、コミハ3名、ケアプラザ5名、その他3名）

【内容】（時間は概ねの目安）

| | 時間 | 内容 |
|---|-------------|--|
| 1 | 14:00～14:10 | ・参加者自己紹介 |
| 2 | 14:10～15:20 | 講座開始 発表者：希望が丘地区センター 副館長 大垣 由紀雄氏 ★「地区センターでの畑事業」 事業のきっかけ、計画、実行までの話 発表者：二俣川地域ケアプラザ 所長 佐藤 孔一氏 包括支援センター 社会福祉士 安川 太郎氏 保健士 西口 美千代氏 ★「対応援助のポイントの理解」 ケアプラザの概要 地域包括支援センターの役割について （実話を例にあげた対応の仕方について） |
| 3 | 15:30～16:00 | グループごとの交流会 いくつかのテーマの中から選んでもらい皆さんで話し合い交流する 終了の挨拶 地域振興課みなくる担当 川見 アンケート記入 |

【当日の様子】



二俣川地域
ケアプラザ
の職員3名

参加者皆さんの
自己紹介から始
まりました



希望が丘地区センター副館長大垣さん
から希望が丘地区センターの特徴的
な事業（畑事業）についての話をして
いただきました

二俣川地域ケアプラザ所長の佐藤さん、
包括支援センターの安川さん、西口さん
からケアプラザの概要から対人援助のポ
イントを話していただきました



まずは地区センターに
来館してもらい、地域
住民との皆さんと交流
しましょう！！



今回は4班に分かれてグループ
交流をしました。施設の困りご
とや今後取り組んでいきたいこ
となど活発に意見を交わしなが
らの有意義な時間となりました



地域包括支援センターが紹介し
た事例をたくさん紹介してい
ただき、「何かあったときには包
括支援センターへ」との力強い
お言葉をいただきました

★「交流会で出た意見（抜粋）」★

A 班

- ケアプラザ、地区センター、コ
ミハ、みなくるの来館者を共有
できるとよい
- みんなで集まる場所を提供でき
るとよい
- 災害時の各施設の対応や連携に
ついて考えていきたい

B 班

- 夜間は決まった団体の利用が多
く、稼働率が上がらない
- 毎月同じ時間帯に部屋を利用す
ることができないと利用者が離
れていってしまう
- 畑づくりのボランティアが集ま
らないので今日の事例を参考に
したい

C 班

- クリスマスの講座に子どもの集
まりが悪い
- センター祭りが昨年より縮小
し、利用者から残念だという声
があった。また、元に戻して賑
やかな祭りにしたい
- 子どもに注意するのも今の時代
難しくなっている

D 班

- 窓口対応について初めて来所さ
れた方には警戒心があるので、
まず信頼関係を作ることが肝心
- 認知症と思われる方が来館され
た場合本人が認めたくないとい
う気持ちもあるので傷つけない
ように対応を心がけている
- 高齢者の方は人と交流しに来て
いる

【参加の皆さんの感想（抜粋）】

- 他施設の交流が出来て良かった （5名）
- 事業を通して地域と交流する視点は勉強になった （2名）
- 対人援助の話で実例からの気づきの点は参考になった （2名）
- 研修の時間を3時間程度取っても良かったのではないかと